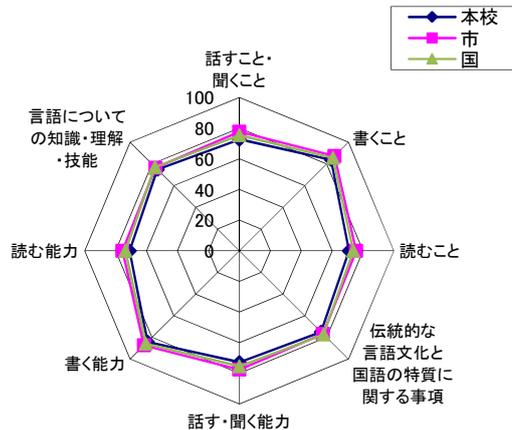


# 宇都宮市立田原中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

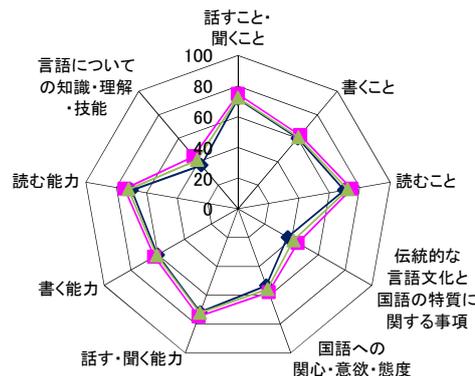
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	72.7	77.6	75.4
	書くこと	84.0	87.3	85.7
	読むこと	71.0	75.6	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.9	76.6	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	72.7	77.6	75.4
	書く能力	84.0	87.3	85.7
	読む能力	71.0	75.6	73.8
	言語についての知識・理解・技能	74.9	76.6	77.2



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	71.8	74.8	72.4
	書くこと	60.1	62.6	60.8
	読むこと	69.8	74.6	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	37.1	44.7	41.4
観点	国語への関心・意欲・態度	53.3	58.0	55.9
	話す・聞く能力	71.8	74.8	72.4
	書く能力	60.1	62.6	60.8
	読む能力	69.8	74.6	72.1
	言語についての知識・理解・技能	37.1	44.7	41.4



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○「結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する」問題において、本校の正答率は83.5%であり、全国・市の平均正答率より3.1~3.6ポイント上回っている。また、無回答率も0%という結果であった。</p> <p>●領域の平均正答率が、全国平均正答率と比べて2.7ポイント、また市の平均正答率と比べて2.9ポイント下回っている。</p> <p>●特に「先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す」問題において、正答率平均が全国・市の平均正答率に比べ大きく下回っている。</p>	<p>・自分の意見を持たせてからペアやグループでの話し合い活動の時間を作ることや、発表する場も適切に設けることで、生徒の話す力を高めていく。</p> <p>・話し合いや発表の場において、話し手は聞き手に分かりやすく伝えられるように工夫し、聞き手は話し手の主張をメモを取ったり、感想や意見をまとめながら聞くなど、相互に相手意識を持つよう指導していく。</p> <p>・本校の生徒には、自分の意見や考えを隠ることなく述べることや、相手の意見や考えを尊重して聞くことを、話し合いの場の基本として意識できるよう、さらに指導していく。</p>
書くこと	<p>○「下書きについての説明として適切なものを選択する」問題において、本校の正答率は80.4%であり、全国・市の平均正答率より5.1~5.3ポイント上回っている。また、無回答率も0%という結果であった。</p> <p>●「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」問題において、正答率平均が全国・市の平均正答率に比べ4.3ポイント下回っている。</p>	<p>・順序立てて説明をし、書き方や構成のモデルを提示することで書き始められない生徒を減らすようにする。</p> <p>・感想や意見を書く時間を多く作ることで、書くことへの抵抗感をなくしていく。</p>
読むこと	<p>○「二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する」問題において、本校の正答率は74.2%であり、全国・市の平均正答率より0.4~1.9ポイント上回っている。</p> <p>●領域の平均正答率が、全国平均正答率と比べて4.6ポイント、また市の平均正答率と比べて2.8ポイント下回っている。</p> <p>●特に、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題において、正答率平均が全国・市の平均正答率に比べ下回っている。</p>	<p>・文学的文章においては、場面の展開を捉えさせ、登場人物の心情や描写に意識しながら内容を理解することに重点を置いて指導していく。</p> <p>・説明的文章においては、筆者の主張とその根拠を捉えていくことを重点的に指導し、基本的な接続語・指示語にも随時着目させて読解できるようにしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○「適切な語句を選択する」「適切な敬語を選択する」問題においては、本校の正答率はそれぞれ79.4%、86.6%であり、全国・市の平均正答率より2~4ポイントほど上回っている。</p> <p>○楷書と行書との違いを理解しているかの問題については、全国平均正答率と比べて15.3ポイント、また市の平均正答率と比べて17.8ポイントと大きく上回っている。</p> <p>●「文脈に即して漢字を書く、読む」問題において</p>	<p>・既習漢字の読み書きの定着を図るために、今後も継続して漢字の小テストや練習をさせていきたい。また語彙力を高めるためにも、自分で辞書を引いて書いたり、読んだりする習慣をつけさせていく。</p>